

デジタル化推進特別委員会

日 時 令和4年6月24日（金）

午後1時

場 所 第2委員会室

付議事項

1 導入するタブレットについて

- ・機種サイズアンケート結果

iPad Pro12.9 インチ 17人、iPad Pro10.5 インチ 1人、アンドロイド3人
機種

サイズ

- ・デモンストレーションの結果について
ペーパーレス会議システム：SideBooks、Morenote
- ・Wi-Fi モデル、セルラーモデルの選択
- ・調達方法について 入札（プロポーザル方式）
- ・導入スケジュールについて

2 特別委員会からの提案書（報告書）について

- ・報告時期について
- ・報告内容について

3 ICT機器使用ルールについて

- ・セキュリティ：端末、クラウドそれぞれのID、パスワードを使用
（2要素で強化）
- ・議場、委員会使用時のルール
- ・持ち出し時のルール

4 その他

(案)

山陽小野田市議会

タブレット端末導入に関する提案書

1. 特別委員会における検討経過

(1) 検討経過

- デジタル化推進特別委員会の設置（ 年 月 日）

目的：デジタル化の推進による、市民サービスの向上及び業務の効率化に関する事について、調査・研究・提案を行う。

- 本市の行政のデジタル化推進について執行部との協議

- 議会タブレット端末導入済議会、導入検討中議会の聞き取り、調査研究

（視察を2度計画したが、感染症の影響で中止となった）

- タブレットを使用するのペーパーレス会議システムのデモンストレーション2回

1. 特別委員会における検討経過

(2) 県内他市の状況

■ タブレット端末導入済の議会

(配布) 宇部市、山口市、萩市、美祢市、防府市、長門市

(配布はしていないが使用可) 下関市、岩国市

■ 導入検討中の議会

光市、柳井市、下松市

2. タブレット導入によるメリット

(1) タブレットの種別

■ Wi-Fiモデル

Wi-Fi環境のみでの通信が可能

経費は抑えられるが、活用の幅が限定される。

→ 導入効果は限定的

■ セルラーモデル（導入を希望するモデル）

携帯電話がつながる環境であれば通信が可能

経費は掛かるが、活用の幅と発展性が大きい。

→ 導入の効果が大きい

→ 使用できるデータ通信料（GB）については検討が必要

2. タブレット導入によるメリット (2) 効果：経費削減効果

■ ペーパーレスによる用紙代・消耗品費等節減

(紙) 議案書、審査に必要な関係資料、開催通知、予算決算書、計画書等

(消) 印刷のインク、ステープル代等

■ 人件費の節減

印刷待機時間、郵送準備、配達時間、差替え手間、議員一斉連絡時間など

■ 通信運搬料等の節減

郵送料、配達の燃料費、封筒代、電話代等

2. タブレット導入によるメリット (2) 効果：議会運営上の効果

- 利便性を活かした議会機能の強化による議会改革の推進

- 市民への迅速・的確な情報提供

議会基本条例 2 条(5)議会運営は、市民の関心が高まるよう、分かりやすい視点、方法等で行うこと。

- 情報取得の迅速化、過去の資料の検索機能の向上、情報の共有・携帯性の向上
例規集、計画書、議案書、予算決算書、通知文、

- I C T 化により、一般質問等でのデジタル資料の使用が可能
運用は要検討、導入議会の実例あり。

- スケジュール管理の一元化

議会、市行事の一元管理

- 情報伝達の迅速化、資料等の迅速な共有

- 文章訂正時の差し替えが容易

データの変更だけで、訂正シールや実物を差し替える必要がない

2. タブレット導入によるメリット (2)効果：議員活動上の効果

- 情報取得の迅速化、過去の資料の検索機能の向上情報の共有・携帯性の向上
例規集、計画書、議案書、予算決算書、通知文

- 政務活動時の精度向上、内容充実、記録内容の向上
精度の高い画像・録音、市データを閲覧しての比較、現場での説明資料としての使用

- 非常時における相互情報交換手段の確立
災害現場の具体的で精度の高い情報の報告、電話回線以外の連絡ツール確立

- I C T化により、一般質問等でのデジタル資料の使用が可能
一般質問の質の向上、市民の理解度向上（要検討）

- スケジュール管理の一元化
議会、市行事の一元管理

- 視認性の向上、膨大な資料の持ち運びが容易
カラーで見やすい、簡単に拡大できる、様々な場面での資料参照に対応

2. タブレット導入によるメリット (2)効果：市民にとっての効果

■ 市民からの要望に迅速に対応

意見交換会、懇談会、報告会等において正確で見やすい情報を提示できる
市政情報取得効率の向上、議員への問い合わせに対する回答の迅速化

■ 情報伝達精度の向上（写真、メール等使用）

市民→議員→執行部（逆の流れも然り）への連絡の精度向上

■ 議会資料の見える化（データ化による公開性向上）

動画のQRコード現在の市の課題の把握、理解深化

■ ICT化、サイネージ等を使用した議会の見える化

議場のモニターで議題に関する資料が閲覧可能

3. タブレット導入によるコストと削減効果の比較

(1) タブレット導入によるコスト

■条件：セルラータイプ 27台

■イニシャルコスト _____円

Wi-Fi環境整備費用、講習会費用 等

■ランニングコスト _____円

端末リース代、プロバイダー料、会議システム費用 等

3. タブレット導入によるコストと削減効果の比較

(2) 削減効果額

- 想定 : 基本的に全ての書類をデータ化
全ての郵送、配達を廃止。全ての連絡はメール、システムを使用

■ 削減額 : _____ 円 (議会のみ導入の場合)

■ 性質別占有率

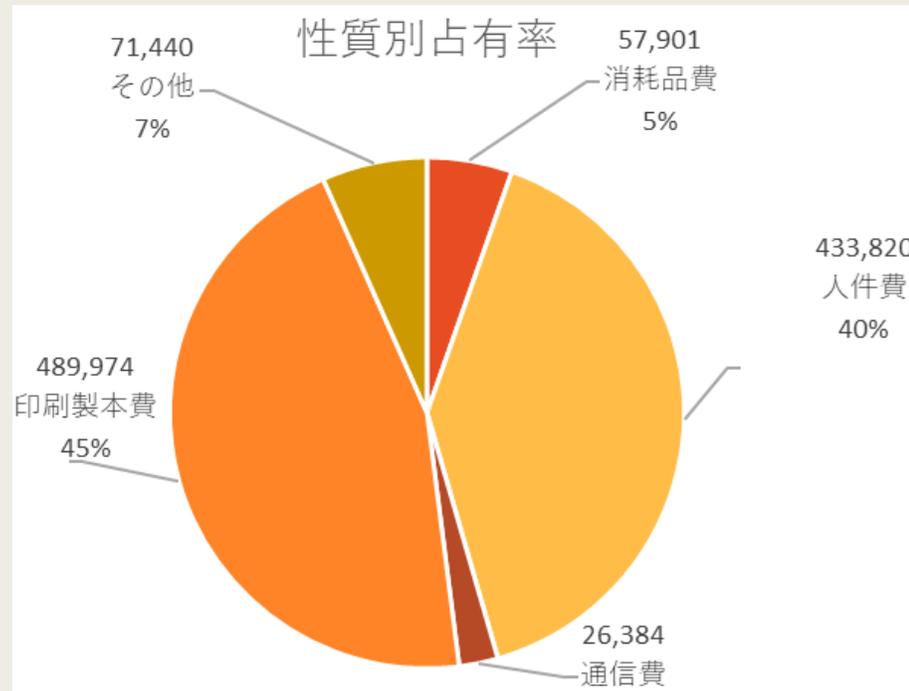
他市の事例 →

消耗品費

人件費、通信費

印刷製本費

その他



3. タブレット導入によるコストと 削減効果の比較

(3) コストと削減効果の比較

コスト _____円

削減額 _____円

差額 _____円

■ 数値化できない効果

消耗品費：ミスプリント等のロス

ゴミの削減：資料は物質的なゴミにならない

4.特別委員会としての結論

結論① 議会にタブレットを導入すべき

理由：

結論② 執行部にもタブレット導入が望ましい

理由：